

【概要】

<医療安全管理のための委員会等の設置>

医療の安全確保とインシデント・アクシデントの発生防止を推進するため、次に定めるところにより、病院組織として医療安全関係の委員会及び部会を設置する。

1. 医療安全関係の委員会の設置

病院長は、病院組織の医療安全関係の委員会として以下の委員会を設置する。委員会はそれぞれの役割に応じて医療の安全を確保し、並びに院内感染対策及び褥瘡対策等を講ずることにより、安全かつ清潔で良質な医療を提供することを目的とする。

(1) 医療安全関係の委員会の設置

- ①医療安全管理対策委員会
- ②感染対策委員会
- ③褥瘡対策委員会
- ④医療器機安全管理委員会
- ⑤透析器機安全管理委員会
- ⑥防火対策委員会
- ⑦放射線安全管理委員会
- ⑧医療ガス安全管理委員会

(2) 医療安全関係の部会の設置

①リスクマネジメント部会の設置

インシデント・アクシデント防止対策のための具体策を検討、協議し、安全で清潔・良質な医療提供を進めるため、リスクマネジメント部会を設置するとともに、各所属にリスクマネージャーを配置する。リスクマネジメント部会で策定されたインシデント・アクシデントの防止対策等は医療安全管理対策委員会に報告する。

②Rapid Response System（RRS）部会の設置

院内における病状の変化に早期に対応して、全身状態の悪化を予防することを目的に Rapid Response System（以下 RRS）部会を設置する。

2. 医療の質・安全管理室及び医療安全関係の管理者等の設置

(1) 医療の質・安全管理室の設置

病院長は、医療安全関係の各委員会で決定された方針等に基づき、組織横断的に安全で清潔な医療を推進し、インシデント・アクシデントを未然に防止するとともに、発生した事故に関する事故原因の分析、調査を行い、再発防止策を検討、協議するなど病院のリスクマネジメントを確保するとともに職員への教育や研修、職場巡視や安全医療を推進するための啓発を行う。医療の質・安全管理室は、医療安全管理対策委員会の庶務のほか病院長が必要と認める業務を所管する。

(2) 医療安全管理責任者、医療安全管理者等の選任等

病院長は、病院全体の医療安全の中核を担う者として、医療の質・安全管理室に次の資格を有する者のうちから医療安全責任者及び医療安全管理者を選任しそのうち副院長の職にある者を医療の質・安全管理室長とする。その他、1名以上の者を医療安全管理業務に専従する者として配置する。

- ①医師、薬剤師又は看護師のうちのいずれかの資格を有していること。
- ②医療安全に関する研修を修了し、必要な知識を有していること。
- ③病院の医療安全管理室に所属していること。
- ④病院の医療安全管理対策委員会の構成員に含まれていること。

(3) 医薬品安全管理責任者の配置

病院長は、医薬品の安全使用を厳密に行うことを目的として薬剤部に医薬品安全管理責任者を配置する。

(4) 医療機器安全管理責任者の配置

病院長は、医療機器の安全運用及び適正管理を目的として医療機器安全管理責任者を配置する。

3. インシデント・アクシデント等の調査対応組織の設置

(1) 医療安全カンファレンスの開催

医療の質・安全管理室長は、院内で発生した全てのインシデント・アクシデントを共有するとともに防止対策を検討することを目的に週に1回程度、医療安全カンファレンスを開催する。構成員は、医療の質・安全管理室長、診療局長、看護局

長、医療技術局長、事務局長、薬剤部代表者、放射線部代表者、臨床検査部代表者、臨床工学部代表者、栄養部代表者、リハビリテーション部代表者及び医事課代表者などとする。

医療安全カンファレンスは、インシデント・アクシデントに対する対策を検討し必要に応じて各部署に対策立案を指示するほか医療安全管理対策委員会で検討する事例を抽出する。

(2) 臨時医療安全管理対策委員会の開催

病院長は、医療法第6条の10の規程による医療事故調査・支援センターへの報告例（以下「事故調報告症例」という。）に該当する可能性のある重大なアクシデントが発生した場合、別に定める要綱に基づき臨時医療安全管理対策委員会を開催する。臨時医療安全管理対策委員会は、医療事故調査・支援センターに報告するべき症例であるかどうかを判断する。

(3) 院内アクシデント調査委員会の設置

臨時医療安全管理対策委員会により詳細調査が必要と判断した事例については別に定める要綱に基づき院内アクシデント調査委員会を設置する。委員会の構成員には、必要に応じて、院外の適切な人員に参加を要請する。院内アクシデント調査委員会は、事故原因究明と再発防止を図る。

(4) 医療事故調査委員会の設置

院内の死亡事例が臨時医療安全管理対策委員会により事故調報告症例に該当する医療事故と判断された場合、病院長は別に定める要綱に基づき医療事故調査委員会を設置する。医療事故調査委員会は、病院長の医療事故調査・支援センターへの報告を補佐するとともに事故原因究明と再発防止を図る。

【2018年度 医療安全研修（医療安全管理対策委員会主催）】

<全職員対象>

開催日	テーマ	参加人数
6月15日（金）	内部統制制度の概要について リスクベースの思考について	383名
7月9日（月）	インフォームド・コンセントに関して ～説明と同意の大切さ～	264名
7月31日（火）	医療技術局による医療安全 ①医療テレメーターで患者の安全を守るために大切なこと ②当院における転倒転落事故の傾向 ③事例から学ぶ医療安全 2018—転倒・転落を起こしやすい薬剤	281名
8月30日（木） 8月31日（金） 9月10日（月） Nsは、 インターネット （7月～9月）	e-ラーニング KYT（危険予知トレーニング）のほんとうの意義とは？	470名
10月1日（月）	Googleから学びTeamSTEPPSの窓から覗く —臨床コミュニケーション熟成のための心理的安全性の理解とその活用	170名
2月5日（火）	リスクマネージャーの活動報告	174名

<対象者限定研修>

開催日	テーマ	対象者	参加人数
5月11日（金）	放射線の被ばくとCT・MRIの安全教育について	新採用看護師	17名
5月14日（月） 5月15日（火）	放射線の被ばくとCT・MRIの安全教育について	看護補助者・清掃業者 防災センター職員 中央監視センター職員	16名

<2018 年度 医療の質・安全管理室ニュース「安全速報」の発行>

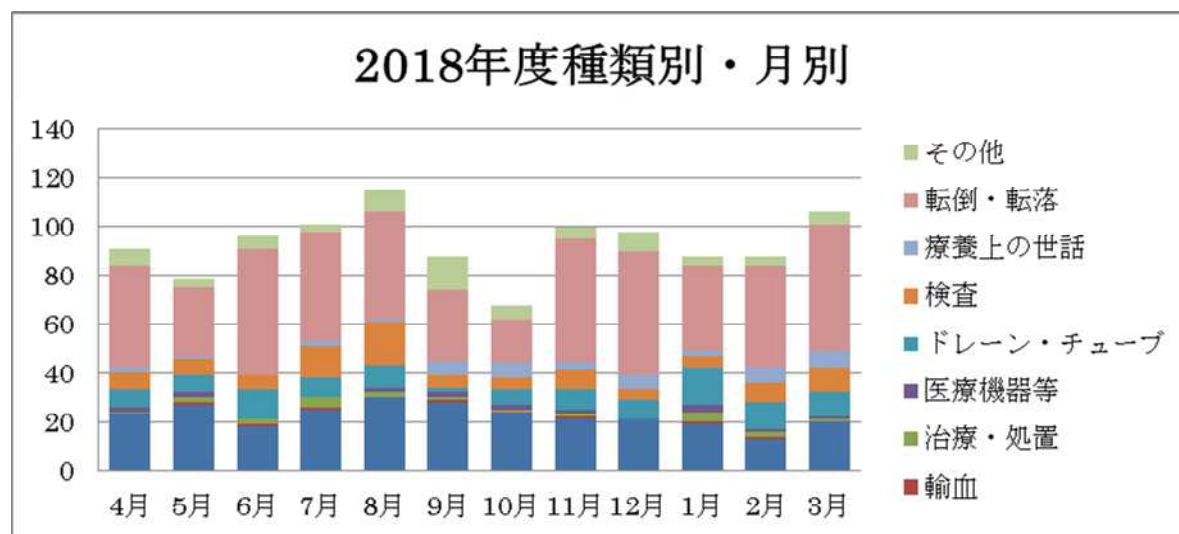
月 日	号数	内容
10 月 24 日	安全速報 130 号	エアーシューター内での検体紛失未遂の事象
11 月 1 日	安全速報 131 号	患者間違い、誤入力についての注意喚起
11 月 8 日	安全速報 132 号	患者誤認関連インシデント
11 月 8 日	安全速報 133 号	SD カード等重要なデータの取り扱い注意！！
12 月 14 日	安全速報 134 号	院内時計合わせ調査結果報告
1 月 15 日	安全速報 135 号	検査一覧等の欄の見間違い注意
2 月 14 日	安全速報 136 号	注射針等の取り扱い注意
2 月 20 日	安全速報 137 号	セーフタッチ輸液システム（プラグ）の使用上の注意

【インシデント報告件数】

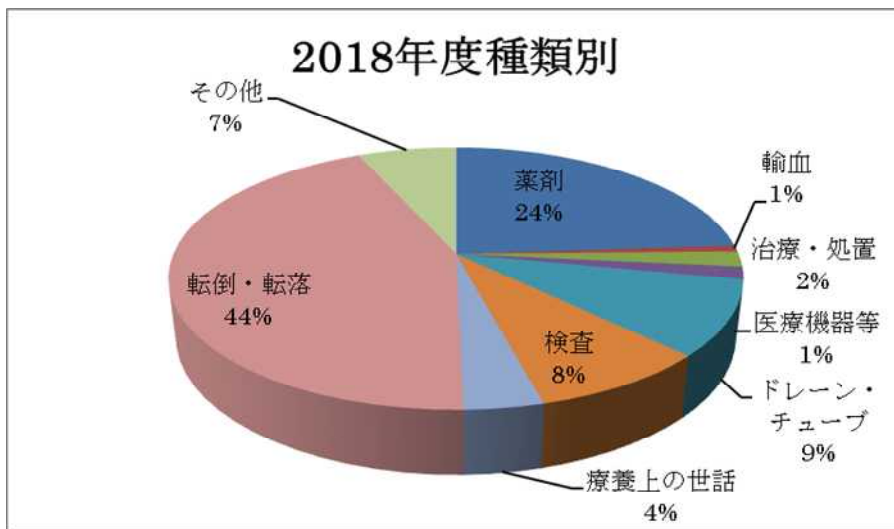
2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日：1,118 件（副報告含む＝1,156 件）

表題	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
薬剤	23	27	18	25	30	28	23	21	21	19	13	20	268
輸血	0	1	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	8
治療・処置	1	2	2	4	2	1	1	1	0	4	2	1	21
医療機器等	2	2	0	0	2	2	2	2	0	3	1	1	17
ドレーン・チューブ	7	7	12	8	9	2	6	8	8	15	11	10	103
検査	7	7	6	13	18	5	5	8	4	5	8	10	96
療養上の世話	2	1	0	2	1	6	6	3	6	2	6	7	42
転倒・転落	42	28	52	45	44	29	18	51	51	35	42	52	489
その他	7	4	5	3	9	14	6	5	8	4	4	5	74
合計	91	79	96	101	115	88	68	100	98	88	88	106	1,118

2018 年度 種類別・月別

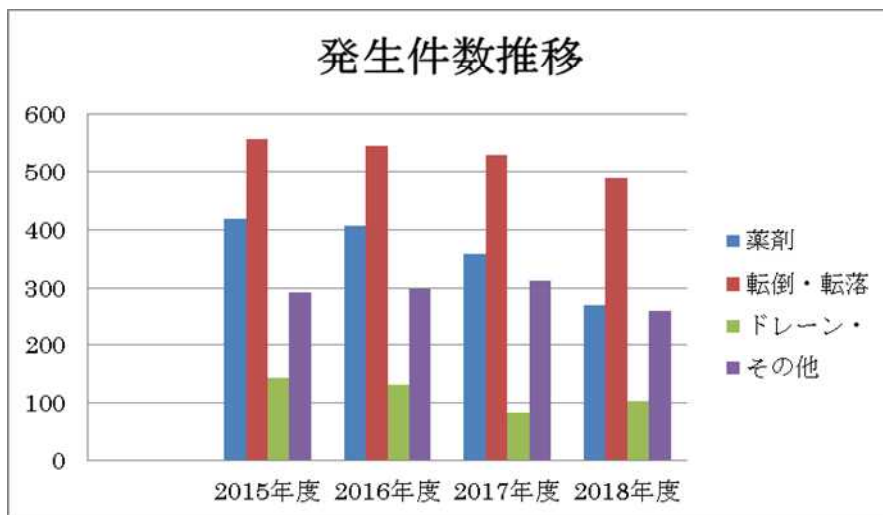


2018 年度 種類別



【発生件数推移】

年度	薬剤	転倒・転落	ドレーン・チューブ	その他	合計
2015 年度	418	556	143	293	1,410
2016 年度	407	544	132	299	1,382
2017 年度	358	528	84	312	1,282
2018 年度	268	489	103	258	1,118



ー インシデント・アクシデントの定義 ー

レベル0：患者様に直接的な影響がなく、実施される前に発見。

レベル1：患者様への実害はなかったが、何らかの影響をあたえた可能性があるため、観察の強化や、心身の配慮が必要になる場合。

レベル2：事故により、患者様にバイタルサイン等の変化が生じ観察の強化及び、検査の必要が生じた場合。

レベル3a：簡単な処置や治療を要した。（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）

レベル3b：濃厚な処置や治療を要した。（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など）

レベル4：事故による障害が長期にわたると推測される場合。

レベル5：事故が死因となる場合。

その他：盗難、器具破損など患者様には影響がない場合。

【感染管理】

<主な業務>

感染対策の推進

- ・関連委員会、会議の庶務
- ・AST カンファレンス
- ・ICT ラウンド
- ・医療関連感染サーベイランス
- ・マニュアル作成・改訂
- ・感染管理コンサルテーション
- ・職業感染防止
- ・教育・研修企画及び運営
- ・感染症発生動向調査事業に関すること

<2018 年度実績・活動内容>

○関連委員会、会議の庶務

- ・感染対策委員会：毎月第4月曜日
- ・ICT 会議：1 回
- ・感染症発生に伴う緊急会議：3 回
- ・感染症発生動向調査に関する説明会：1 回

○感染防止対策加算・感染防止対策地域連携加算に伴う活動

- ・合同カンファレンス：琵琶湖養育院病院、ひかり病院（6・9・12 月）
- ・8 施設合同カンファレンス：大津赤十字病院、独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院、大津赤十字志賀病院、琵琶湖大橋病院、琵琶湖中央病院、琵琶湖養育院病院、ひかり病院（3 月）
- ・相互ラウンド：独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院を評価（10 月）
大津赤十字病院より評価（11 月）
大津赤十字病院を評価（12 月）

○AST カンファレンス：毎週水曜日

〈カンファレンス〉対象：血液培養陽性者、抗 MRSA 薬使用者、カルバペネム長期使用者

- ・カンファレンス回数：50 回
- ・延べ対象患者数：630 人
- ・延べカンファレンス時間：31 時間 34 分

○ICT ラウンド：毎週水曜日

〈耐性菌ラウンド〉対象：耐性菌検出患者

〈環境ラウンド〉対象：病棟以外の部署

○医療関連感染サーベイランス

- ・中心ライン関連血流感染
- ・人工呼吸器関連肺炎
- ・尿道留置カテーテル関連尿路感染
- ・手術部位感染
- ・耐性菌
- ・抗菌薬使用量

- ・手指衛生
- ・針刺し切創・血液体液曝露

○感染症病棟関連

- ・個人防護具の着脱訓練：月 1 回

○感染対策研修会

開催月	テーマ	対象	講師
4 月	感染対策の基本	新規採用者（医師、看護師）	感染管理認定看護師
		医師（医局会）	
6 月 7 月	感染対策の基本	事務職・補助員	感染管理認定看護師
6 月 9 月 1 月	感染対策の基本	医療職	感染管理認定看護師
7 月	限りある資源である抗菌薬を大事に使うための感染症診療	全職員	外部講師
9 月 10 月	抗菌薬の適正使用	全職員	薬剤師
9～1 月	インフルエンザ対策（e-ラーニング）	看護師	外部講師
10 月 11 月	インフルエンザ対策（インターネット講義）	全職員（看護師を除く）	外部講師
12 月	血液培養検査・抗菌薬について	医師（医局会）	医師

○ICT ニュースの発行

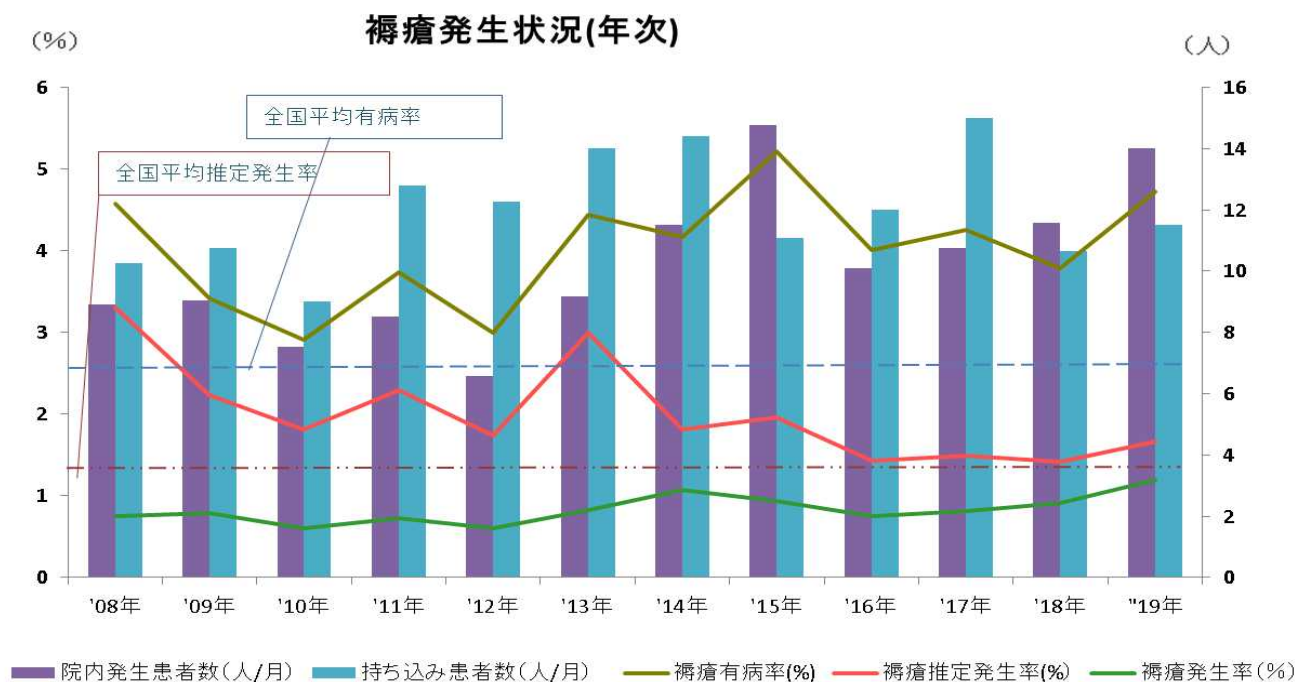
号数	発行日	テーマ
第 23 号	8 月 2 日	バード IC フォーリートレイ
第 24 号	11 月 29 日	針刺し・粘膜曝露に注意

【褥瘡対策】

褥瘡対策では、褥瘡対策委員会（褥瘡対策チーム）と看護局褥瘡対策委員会、褥瘡管理者（皮膚・排泄ケア認定看護師）が多職種協働でチーム医療を実践しています。

【褥瘡発生状況】

	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
月平均褥瘡有病率（％）	3.42	2.91	3.73	2.99	4.44	4.17	5.22	4.00	4.26	4.72
月平均褥瘡推定発生率（％）	2.23	1.81	2.29	1.74	3.00	1.81	1.96	1.43	1.46	1.67
実褥瘡発生率（％）	0.79	0.60	0.73	0.60	0.82	1.07	0.94	0.75	0.81	1.19
院内発生患者数（人）	9.03	7.54	8.50	6.58	9.16	11.50	14.75	10.08	10.75	14.00
持ち込み患者数（人）	10.75	9.00	12.80	12.25	14.00	14.40	11.08	12.00	15.00	11.50
医療機器関連圧迫創傷（人）	-	-	-	-	-	-	6.50	6.50	5.08	3.63



【2018 年度褥瘡回診】

月	日数	時間（分）	のべ人数
4 月	4	360	24
5 月	5	185	24
6 月	4	160	17
7 月	4	365	25
8 月	5	220	29
9 月	3	85	11
10 月	5	170	19
11 月	4	155	15
12 月	4	185	18
1 月	3	130	17
2 月	3	110	17
3 月	4	125	11
計	48	2,250	227

※回診対象者：

新規褥瘡発生・もち込み患者さんの中で、褥瘡深度が NPUAPII 度以上の方

【褥瘡対策研修会】

主催	テーマ	日時	講師	対象
看護局 ラダー	学研メディカル e-learning システム 褥瘡を予防する	通年	-	看護職
	セーフマスター e-learning 褥瘡の基礎・予防編	通年	-	看護職
	スキン-ケア	7 月 26 日	大津 陽子 大坪 有紀子	全職員・公開講座
褥瘡対策 委員会	MDRPU と褥瘡の局所評価方法 DESIGN-R について	9 月 19／20 日	大坪 有紀子 末廣 晃宏	全職員

スキンケア外来

スキンケア外来は、皮膚・排泄ケア認定看護師が運営に携わり、主にストーマ保有者の社会復帰への促進、スキントラブルの予防、QOLの向上等を目的に支援しています。

近年対象者は高齢化が進んでいる事や化学療法・放射線療法後の担癌患者さんなど、背景も多様化しています。特に高齢者は在宅への移行時に、地域の医療システム（医療スタッフ）との連携が必要になるため、実際にストーマケアをしてくださる方との情報交換なども積極的に行っています。

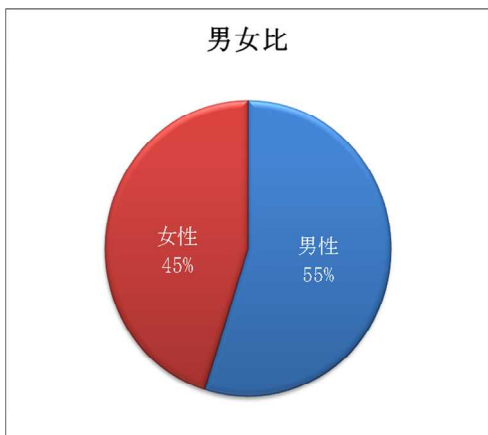
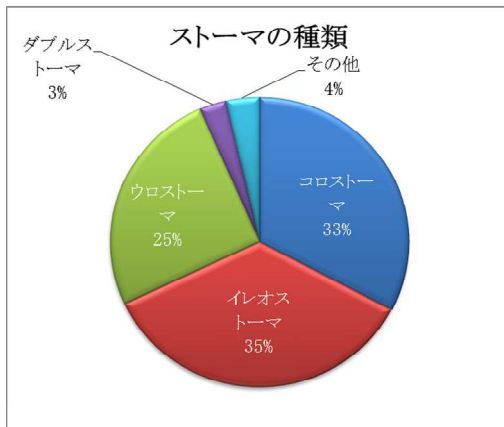
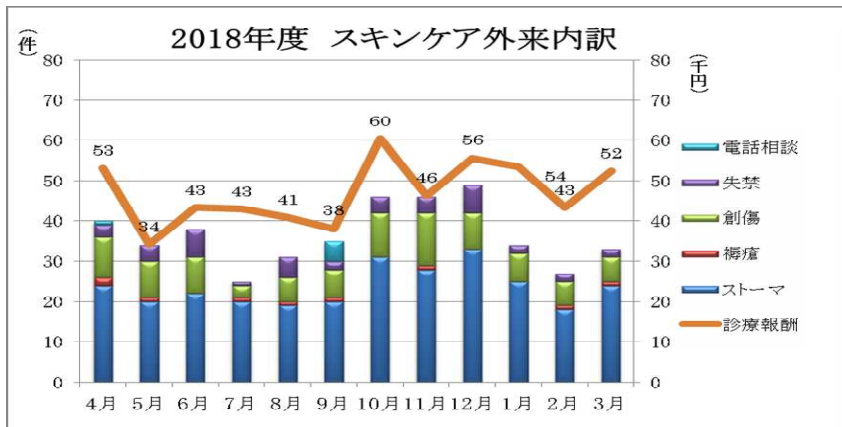
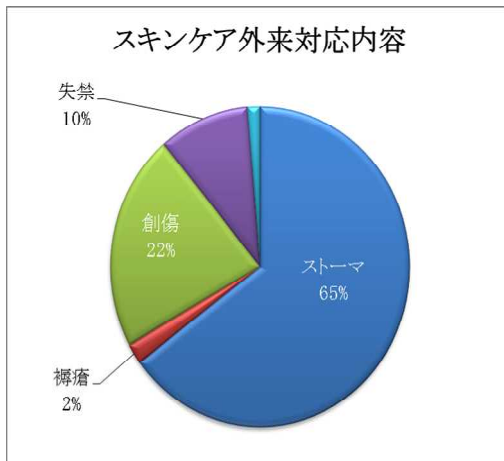
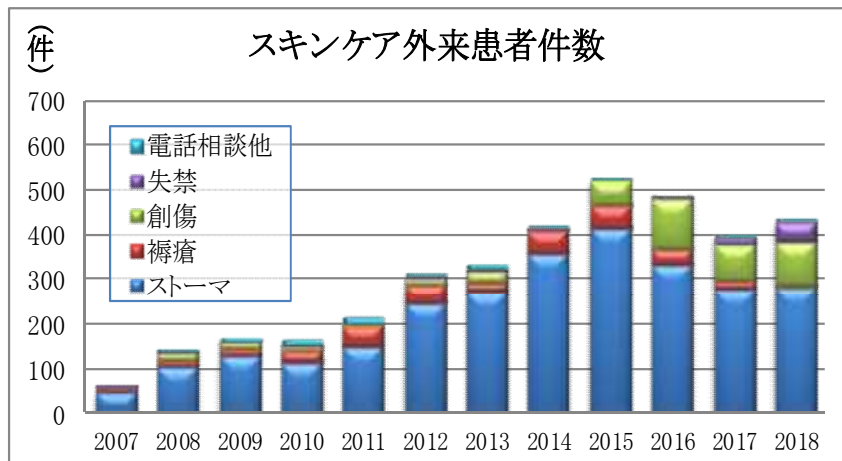
また創傷ケアの一環として、乳腺外科の医師とともに癌性創傷（自壊創を含む）、手術創の治癒遅延などに対し、ケアを提供しています。在院日数の短縮化や、「1日でも早く退院したい」、「1日でも長く自宅にいたい」と思う患者さんの気持ちを大切に、自宅でもセルフケアが可能な方法を一緒に考えたいと思っています。

褥瘡がある患者さんには、ご家族や日々ケアされる訪問看護師さんをはじめ、在宅関連職種とともに、生活環境や補助用具の見直しや提案等を行いながら、皮膚科医師とともに生活の場で発生する褥瘡の予防や治癒に向けて地域連携およびキーパーソンへの支援を実施しています。

2013年からは「専門性の高い訪問看護※1」として患者宅を訪問し、ご家族や訪問看護師さんとともに褥瘡だけでなく、生活そのものを褥瘡発生の要因ととらえて、予防や治癒にむけたアドバイスを行っています。

失禁に対する相談では、術後の尿失禁に対する骨盤底筋体操の指導をはじめ、尿失禁、便失禁で悩まれる患者さんの気持ちに寄り合いながら、QOLの向上を目的にスキントラブルの予防や経済性を考慮したケアの相談に応じています。

※1：在宅患者訪問看護・指導料：ストーマ保有、真皮を超える褥瘡の状態にある在宅療養中の患者について、訪問看護ステーションの看護師が同一日に訪問する。市立大津市民病院に受診歴がなくても可能です。



地域医療連携室・入退院センター

【診療科別開放型病床利用数・紹介入院患者数】

(単位：人)

診療科	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
内 科	9 195	2 236	10 225	9 238	19 248	11 392	15 556	16 760	7 673	2 644
消化器内科	7 329	0 298	2 331	6 317	8 368	4 385	0 507	8 496	4 426	1 324
呼吸器内科	2 94	0 84	0 38	2 45	0 55	2 85	4 109	3 128	0 136	1 110
小 児 科	2 121	0 99	0 147	0 120	3 110	1 158	0 123	0 220	0 208	0 228
外 科	2 146	0 156	0 161	2 133	4 150	4 180	2 300	7 314	6 229	0 158
整形外科	2 93	4 118	0 113	0 85	3 84	1 160	0 203	2 142	0 193	2 132
産婦人科	0 73	0 111	0 93	0 97	0 122	2 180	1 292	0 242	0 156	0 125
眼 科	0 73	0 74	0 67	0 55	0 60	0 115	0 295	0 229	0 124	0 74
耳鼻咽喉科	0 48	0 59	0 44	0 44	0 41	2 66	0 149	1 126	0 66	0 52
泌尿器科	1 90	8 102	0 115	0 85	0 89	2 83	1 133	11 181	1 138	0 124
皮膚科	0 14	0 24	0 21	0 24	0 26	0 54	1 40	0 51	0 41	0 42
歯科口腔外科	0 403	0 388	0 465	0 417	0 363	0 184	0 334	0 281	0 248	0 243
放射線科	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
脳神経外科	2 186	2 194	0 178	2 116	5 90	3 164	4 150	2 147	1 75	0 76
神経内科	8 88	5 92	17 79	8 57	5 79	4 163	7 137	11 143	4 114	6 83
心臓血管外科	0 35	0 38	0 42	0 25	0 19	0 32	0 28	0 38	0 42	0 22
呼吸器外科	0 52	0 49	0 56	1 40	0 34	1 47	0 64	0 50	0 55	0 44
循環器内科	1 70	0 103	1 114	1 91	5 103	12 128	9 176	1 164	6 152	7 154
精神・心療内科	0 3	0 3	0 4	0 2	1 3	0 3	0 4	0 11	0 2	0 5
緩和ケア科	2 20	0 19	0 8	0 70	3 95	0 92	0 45	0 124	0 125	0 93
合 計	38 2,133	21 2,247	30 2,301	31 2,061	56 2,139	49 2,671	44 3,645	62 3,847	29 3,203	19 2733

上段：開放型病床利用者数

下段：紹介入院患者数

【2018 年度 特殊検査依頼予約件数】

(単位：件)

検 査 項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
X 線		2	3	1		2	1			2	1		12
骨 塩 定 量	3	3	2	1	1	1	3	1	3	4	6	1	29
上部消化管内視鏡	15	16	17	16	16	20	28	22	16	16	26	29	237
大腸ファイバー	8	5	2	10	12	13	18	16	7	9	16	11	127
腹部超音波検査	3	4	4	4	3	3	6	4	8	6	5	4	54
心臓超音波検査	2	2	1	1	1	1	2	1	2			2	15
その他超音波検査				3		2		1				3	9
M R I	69	78	75	77	59	50	49	66	55	76	65	83	802
C T スキャン	24	33	29	35	28	43	38	31	31	38	32	40	402
R I 検 査	3	2	1	4	5	4	2	3	2	3	3	32	3
そ の 他	1	1	3	1	2	2	1	2	3	1	3	4	24
合 計	128	146	137	153	127	141	148	147	127	155	157	209	1714

2017 年度合計	144	133	157	148	138	126	166	151	131	141	120	127	1682
増 減	△16	13	△20	5	△11	15	△18	△ 4	△ 4	14	37	82	32

【2018 年度 一般患者診察依頼件数】

(単位：件)

診 療 科	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
内 科	32	28	35	37	36	32	30	26	31	30	35	30	382
消 化 器 内 科	64	64	51	56	54	49	83	70	64	69	67	80	771
呼 吸 器 内 科	23	14	24	23	21	27	33	31	32	26	28	32	314
小 児 科	12	7	17	9	9	7	6	14	8	11	5	14	119
外 科	18	21	16	16	15	18	20	18	19	14	20	18	213
整 形 外 科	43	38	36	36	31	25	42	31	26	38	35	30	411
産 婦 人 科	28	25	30	23	35	27	30	27	30	28	39	31	353
眼 科	20	17	29	18	16	17	28	26	24	24	18	14	251
耳 鼻 咽 喉 科	8	8	7	15	20	16	17	17	19	15	26	37	205
泌 尿 器 科	17	14	23	31	22	19	22	15	25	22	19	22	251
皮 膚 科	17	22	24	17	17	24	21	17	17	19	24	26	245
形 成 外 科	1	1	2	2	3		5	2	2	5	2	1	26
歯 科 口 腔 外 科	65	71	61	81	83	71	93	91	60	54	82	117	929
脳 神 経 外 科	23	33	31	35	29	21	26	34	20	24	25	38	339
心 臓 血 管 外 科	9	2	6	5	8	13	14	13	8	3	9	7	97
呼 吸 器 外 科	3	3	4	1	2		5	3	4	2	1	5	33
脳 神 経 内 科	22	32	35	34	20	22	36	32	22	19	32	39	342
循 環 器 内 科	29	21	21	32	21	21	30	20	27	20	22	38	302
精神・心療内科	6	3	9	6	8	6	9	10	6	6	10	13	92
緩 和 ケ ア 科	11	21	14	19	16	17	20	23	24	17	15	19	216
合 計	451	445	475	496	466	432	570	520	468	446	514	611	5894

2017 年度合計	434	390	465	452	464	418	476	479	382	399	440	484	5283
増 減	17	55	10	44	2	14	94	41	86	47	74	127	611

【開放型病床利用状況】

区 分	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	増減 (2018-2017)
利用入院患者数	44	45	59	29	20	△30
(月平均)	3.7	3.8	4.9	2.4	1.7	△2.5
利用入院患者延人員	777	211	1,078	544	377	△534
(月平均)	64.8	17.6	89.8	45.3	31.4	△44.5
平均在院日数	17.6	4.7	18.3	18.8	18.8	0.5
開放型病床利用率(%)	43.2	11.7	59.9	30.2	20.9	△29.7
利用登録医師数	12	10	12	12	9	0
(月平均)	1.0	0.8	1.0	1.0	0.8	0
共同指導回数	46	84	121	43	31	△78
(月平均)	3.8	7.0	10.1	3.6	2.6	△6.5

【転院患者内訳】

		2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	増減 (2018-2017)
人	数	1,729	1,976	2,198	2,519	2,445	△74
平	均 年 齢	78	79	79	78	79	1
平	均 在 院 期 間	38	31	28	28	28	0
平	均 依 頼 期 間	31	27	23	25	25	0
転 帰 先	病 院	334	514	504	514	555	51
	施 設	259	310	323	310	264	△59
	グループホーム	19	37	32	37	34	2
	在 宅	975	1,159	1,441	1,159	1,384	225
	死 亡	142	215	250	215	237	22

【2018 年度 相談件数】

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
医 療 費	0	1	1	2	3	0	4	2	0	2	0	3	18
特 定 疾 患	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3
高 齢 福 祉	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	6
生 活 福 祉	1	5	5	8	1	2	1	1	2	2	0	0	28
障 害 福 祉	0	2	0	3	2	0	0	2	2	0	2	1	14
児 童 福 祉	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
介 護 保 険	24	19	22	22	19	23	31	26	24	19	18	28	275
そ の 他 の 施 策	1	0	3	4	2	2	1	5	2	1	1	3	25
施 策 外 サ ー ビ ス	4	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0	0	9
転 院 調 整	65	73	82	74	76	72	93	69	63	71	62	77	877
在 宅 調 整	35	30	46	50	46	32	48	34	43	26	39	36	465
受 診 相 談	6	2	2	0	2	2	4	2	3	5	3	1	32
家族に関する相談	4	1	3	2	2	3	1	3	1	0	2	0	22
情 報 仲 介	67	57	64	66	72	58	82	74	78	73	60	73	824
入 院 生 活	1	0	1	2	1	0	1	1	0	0	1	0	8
往 診 医	7	3	2	5	8	3	4	3	1	5	6	5	52
訪 問 看 護	8	5	8	4	8	5	6	5	11	7	13	7	87
介護タクシー予約	29	49	60	38	52	35	46	35	40	41	39	54	518
そ の 他 の 相 談	0	2	1	6	1	1	5	5	5	3	1	3	33
拡大カンファレンス	3	0	2	4	3	1	5	3	1	0	2	5	29
カンファレンス	11	13	15	11	13	10	12	16	15	13	16	9	154
合 計	267	263	317	303	313	252	344	288	292	268	265	308	3,480

入 院 新 規 件 数	186	232	193	241	228	197	204	195	186	248	186	183	2,479
入 院 終 了 件 数	195	190	219	231	233	180	234	188	200	204	175	196	2,445
外 来 実 人 数	73	66	53	97	73	72	95	129	79	79	114	108	1,038

【2018 年度 救急受入件数（診療科別・搬入経路別）】

（単位：件）

診療科	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
内 科	263	316	209	377	343	234	244	249	452	1014	388	262	4,351	362.6
消 化 器 内 科	132	177	158	161	170	157	125	137	171	166	123	152	1,829	152.4
呼 吸 器 内 科	26	50	42	41	36	30	40	25	41	38	19	19	407	33.9
小 児 科	139	125	146	187	148	131	111	128	225	379	191	138	2,048	170.7
外 科	33	31	37	32	40	39	34	26	44	38	28	49	431	35.9
整 形 外 科	191	212	172	193	167	190	222	186	200	194	129	169	2,225	185.4
産 婦 人 科	26	42	50	33	29	32	33	21	27	32	23	27	375	31.3
眼 科	6	3	5	6	10	5	5	6	3	9	7	3	68	5.7
耳 鼻 咽 喉 科	44	62	45	51	75	65	65	59	64	58	44	62	694	57.8
泌 尿 器 科	43	52	44	58	46	53	49	39	34	41	37	32	528	44.0
皮 膚 科	144	176	187	179	221	197	142	123	135	122	96	134	1,858	154.8
形 成 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	0	1	3	1	3	2	2	6	3	3	2	5	31	2.58
脳 神 経 外 科	97	82	73	82	96	89	114	99	102	104	82	94	1,114	92.8
心臓血管外科	1	0	4	9	1	5	2	0	2	3	2	3	32	2.7
呼 吸 器 外 科	11	4	7	5	2	6	3	6	4	3	4	7	62	5.2
神 経 内 科	47	48	47	58	55	54	61	37	49	51	53	49	609	50.8
循 環 器 内 科	60	66	49	45	37	42	32	65	40	50	49	47	582	48.5
精神・心療内科	19	26	19	23	19	15	20	14	14	20	8	11	208	17.3
緩 和 ケ ア 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救 急 室	14	22	22	33	14	14	12	9	12	26	15	21	214	17.8
合 計	1,296	1,495	1,319	1,574	1,512	1,360	1,316	1,235	1,622	2,351	1,300	1,284	17,666	1,472.2

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
交 通 外 傷	35	40	38	35	31	14	23	29	31	27	29	26	358	29.8
紹 介	75	88	98	89	92	93	109	106	40	33	102	24	949	79.1

搬入経路	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
一 般	991	1,144	1,013	1,175	1,136	1,086	990	915	1,316	1,976	1,021	986	13,749	1,145.8
救 急	305	351	306	399	376	274	326	320	306	375	279	298	3,915	326.3
へ り	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0.3
合 計	1,297	1,495	1,319	1,575	1,513	1,360	1,316	1,235	1,622	2,351	1,300	1,284	17,667	1,472.4

【2018 度地域医療支援研修会実施報告】

部署	開催日	講座名称及びテーマ	参加人数		担当者
			院内	院外	
薬剤部	7 月 12 日	病薬連携セミナー	14	13	峠岡 佑典（内科） 山下 亜希（看護局）
	11 月 15 日	認知症の最近の話題 ～認知症とてんかんの合併？～	3	16	中山 英夫（薬剤長）
看護局	7 月 26 日	高齢者の裂創を見かけたら！ ーあなたもスキンケア予防の達人になろうー	31	12	大津 陽子・大坪 有紀子 （皮膚・排泄ケア認定看護師）
	12 月 14 日	がん看護の動向と意思決定支援 ～コミュニケーションに役立つ看護モデルとその実際を学ぼう～	22	3	杉江 礼子 （がん看護専門看護師）
緩和ケア 病棟	10 月 18 日	緩和ケア病棟研修	0	14	9 A病棟看護師
	10 月 28 日	緩和ケア研修会	9	6	津田 真 （緩和ケア科 診療部長）
リハビリテーション部	8 月 25 日	第3回 リンパ浮腫症例検討会 滋賀	12	18	横谷 俊彦 （リハビリテーション部）
地域医療連携室	6 月 14 日	〈市立大津市民病院大学 健康講座〉 大腸がんで死なないために出来ること	1	65	田中 順子 （消化器内科）
	7 月 12 日	〈市立大津市民病院大学 健康講座〉 脳梗塞にならないために、なってしまったら	0	42	廣田 伸之 （脳神経内科 診療部長）
	9 月 13 日	〈市立大津市民病院大学 健康講座〉 眠れないと感じる方へのお話	0	53	畑 譲 （精神・心療内科 診療部長）
	10 月 18 日	〈市立大津市民病院大学 健康講座〉 外来通院手術部一痔の注入療法、鼠径ヘルニアなどー	0	21	橘 強 （外来通院手術部／外科 診療部長）
	11 月 3 日	糖尿病 110 番「糖尿病と認知症」	10	54	石井 通予・峠岡 佑典（内科） 廣田 伸之（脳神経内科）講演
	11 月 12 月	〈市立大津市民病院大学 健康講座〉 がん治療中のお口のトラブルとケア	0	22	西山 祐子 （歯科衛生士）
	12 月 27 日	がん妊孕性温存研修	25	0	天野 泰彰 （産婦人科 診療部長）
	2 月 8 日	〈市立大津市民病院大学 健康講座〉 増えている膵がん、いたずらに恐れるべからず	9	37	全 圭夏 （消化器内科）
	2 月 14 日	〈市立大津市民病院見学会 学術講演〉 重症患者の Post ICU を考える	13	11	小尾口 邦彦 （救急診療科 診療部長）
	3 月 14 日	〈市立大津市民病院大学 健康講座〉 「ロボットでここまでできる」～当院における最先端のがん治療～	14	1	七里 泰正・増井 仁彦（泌尿器科） 平井 健次郎（外科）
総合内科	5 月 24 日	急激な腎機能悪化を認めた 69 歳女性の 1 例	25	1	上村 美翔 （臨床研修センター）
	9 月 6 日	低ナトリウム血症を伴う痙攣を起こした 76 歳女性	17	1	岡本 拓希 （臨床研修センター）
	12 月 13 日	全身倦怠感を主訴に急激な腎機能障害を認めた 48 歳女性	20	1	市川 貴博 （臨床研修センター）
	3 月 14 日	半年で 7kg の体重減少を認めた 69 歳女性	1	0	成田 有里 （臨床研修センター）

部署	開催日	講座名称及びテーマ	参加人数		担当者
			院内	院外	
NST委員会	6月25日	NST勉強会（第19クール）① 簡易懸濁法 経腸・頸静脈栄養他 口腔ケア	14	0	薬剤部 鄭 智佳 （薬剤師） 歯科口腔外科 山本 伸子 （歯科衛生士）
	7月30日	NST勉強会（第19クール）②摂食・嚥下障害と栄養管理 嚥下評価とリハビリテーション 嚥下訓練食	18	0	リハビリテーション部 本里 ゆかり （言語聴覚士） 栄養部 木原 晴美 （管理栄養士）
	8月27日	NST勉強会（第19クール）③SGA（主観的包括的評価） ～JSPEN・TNTプログラム～	15	0	峠岡 佑典 （内科）
	10月1日	NST勉強会（第19クール）④ODA（客観的栄養評価） ～JSPEN・TNTプログラム～	14	1	石井 通予 （糖尿病・内分泌内科 診療部長）
	10月29日	NST勉強会（第19クール）⑤救急領域の栄養管理	12	1	松本 悠吾（救急診療科）
	12月17日	NST勉強会（第19クール）⑥腎臓疾患と栄養管理	13	0	吉田 尚平（内科）
	1月28日	NST勉強会（第19クール）⑦消化器疾患と栄養管理	8	1	杉本 博子・皆川 優季（消化器内科）
	2月25日	NST勉強会（第19クール）⑧糖尿病と栄養管理	16	1	峠岡 佑典（内科）
	3月4日	NST勉強会（第19クール）⑨外科疾患と栄養管理	12	0	藤田 覇留久（外科）
	3月18日	NST勉強会（第19クール）⑩呼吸器疾患と栄養管理	14	1	田中 理美（呼吸器内科）
放射線部	6月30日 ～7月1日	業務拡大に伴う統一講習会（近畿地域）	0	17	南 一男（放射線部副技師長）
	7月14日	第25回関西 Gyro Meeting(MRI)	4	43	中村 昌文（放射線部）
	7月22日	放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー	0	15	南 一男（放射線部副技師長）
	7月29日	平成30年度 第1回 滋賀県原子力災害医療人材育成研修会	0	13	南 一男（放射線部副技師長）
化学療法委員会	11月9日	1、乳癌 ～検診～診断について～ 2、乳癌 ～がん薬物療法について～	0	60	洲崎 聡・橘 強 （外科）
その他	7月5日	感染対策研修会 限りある資源である抗菌薬を大事に使うための感染症診療	96	1	山本 舜吾 （京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター 臨床研究教育・研修部特定助教）
	8月22日	健康講座 「認知症の予防」	0	82	石原 菜緒子（認知症看護認定看護師）
	11月29日	大津市 心不全を考える会 「新しい心不全ガイドラインを紐解く」	13	5	木股 正樹 （循環器内科 診療部長） 細川 弘一郎 （富山大学内科学第2講座 教授）
	2月20日	健康講座 「糖尿病の予防」	0	40	山下 亜希（糖尿病看護認定看護師）

部	署	回数	院内	院外	合計
薬	剤 部	2	17	29	46
看	護 局	2	53	15	68
緩	和 ケ ア 病 棟	2	9	20	29
リ	ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 部	1	12	18	30
地	域 医 療 連 携 室	10	72	306	378
総	合 内 科	4	63	3	66
N	S T 委 員 会	10	136	5	141
放	射 線 部	4	4	88	92
化	学 療 法 委 員 会	1	0	60	60
そ	の 他	4	109	128	237
合	計	40	475	672	1,147

患者相談支援室

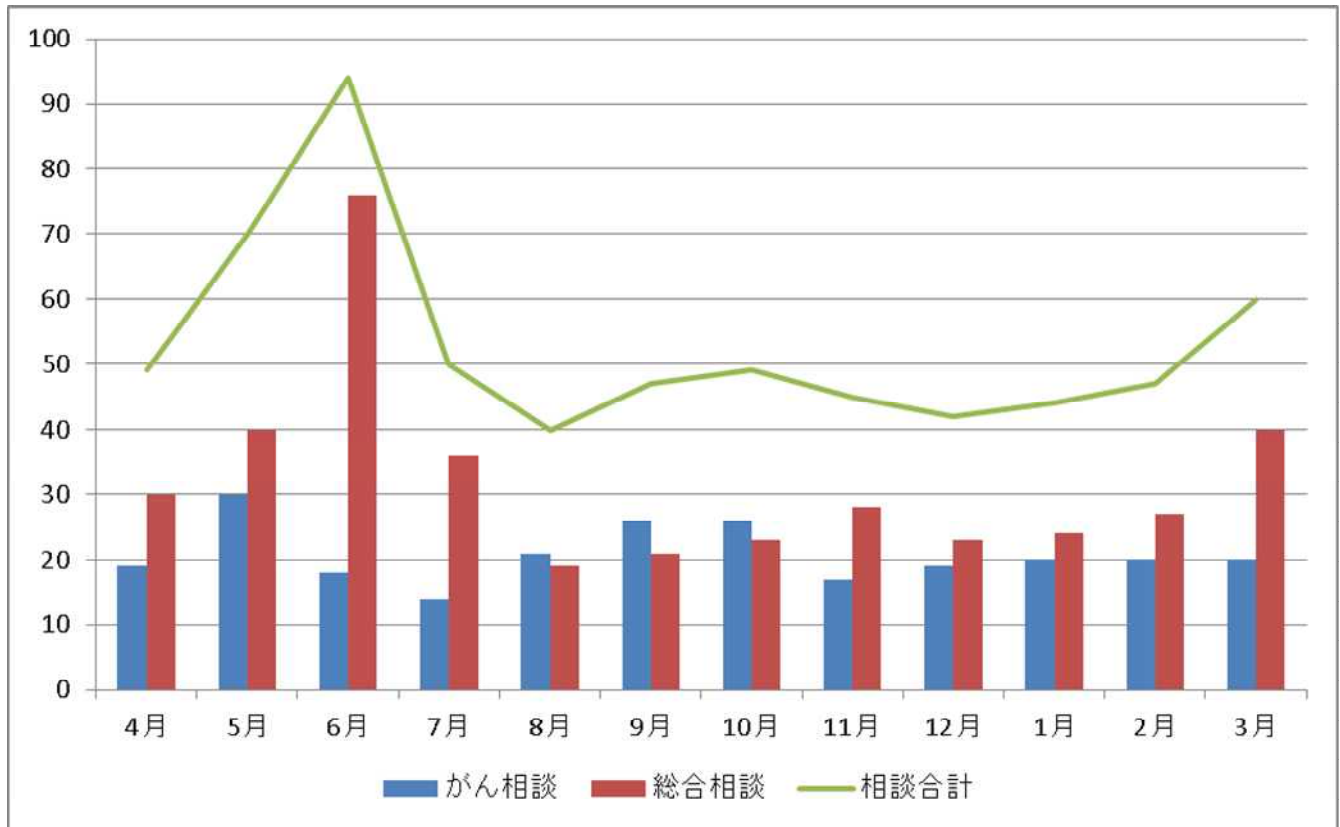
【2018 年度 相談件数 月別実績】

	延べ相談:件 対応時間:分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計	2017 年度
が ん 看 護 専 門 看 護 師	相 談	1	2	1	4	3	3	2	1	2	2	2	3	26	28
	対応時間	80	110	30	235	90	120	60	40	155	80	70	100	1,170	1,205
がん化学療法 看護認定看護師	相 談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	対応時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	180
薬 剤 師	相 談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	対応時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栄 養 士	相 談	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2
	対応時間	0	0	0	0	0	0	15	30	0	0	0	0	45	95
公 認 心 理 師	相 談	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	5	5
	対応時間	0	90	0	0	0	90	0	55	50	0	50	0	335	340
リンパ浮腫療養士 がん看護専門看護師 (患者相談支援室での対応)	相 談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	対応時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
が ん 患 者 サ ポ ー ト 関 連	相 談	18	27	17	10	18	22	23	14	16	18	17	17	217	197
	対応時間	345	1,110	910	495	940	720	1,020	615	740	655	681	720	8,951	8,505
がん相談合計 (A)	相 談	19	30	18	14	21	26	26	17	19	20	20	20	250	235
	対応時間	425	1,310	940	730	1,030	930	1,095	740	945	735	801	820	10,501	10,325
看護師・事務職	相 談	10	19	62	27	9	14	15	19	16	14	19	33	257	167
	対応時間	75	280	370	225	55	80	205	325	185	200	155	340	2,495	2,270
電 話 相 談 (看護師・事務職)	相 談	19	21	13	9	8	7	8	9	5	10	8	6	123	147
	対応時間	195	165	130	75	65	50	55	80	40	85	110	80	1,130	1,025
M S W	相 談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	対応時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他専門職	相 談	1	0	1	0	2	0	0	0	2	0	0	1	7	6
	対応時間	50	0	15	0	70	0	0	0	65	0	0	85	285	230
総合相談合計 (B)	相 談	30	40	76	36	19	21	23	28	23	24	27	40	387	320
	対応時間	320	445	515	300	190	130	260	405	290	285	265	505	3,910	3,525
その他の 相談室利用 (C)	相 談	18	15	20	27	24	14	20	12	11	13	19	17	210	267
	対応時間	705	595	750	1,240	980	570	755	375	385	460	530	435	7,780	13,000
患者相談 支援室合計 (A+B+C)	相 談	67	85	114	77	64	61	69	57	53	57	66	77	847	822
	対応時間	1,450	2,350	2,205	2,270	2,200	1,630	2,110	1,520	1,620	1,480	1,596	1,760	22,191	26,850

【2018 年度 相談支援室利用状況】

(単位：件)

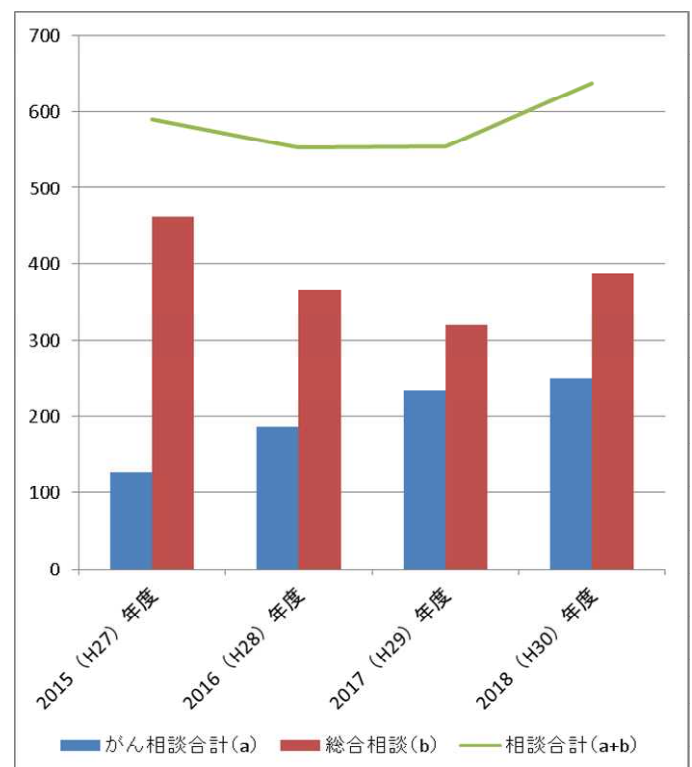
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
がん相談	19	30	18	14	21	26	26	17	19	20	20	20	250
総合相談	30	40	76	36	19	21	23	28	23	24	27	40	387
相談合計	49	70	94	50	40	47	49	45	42	44	47	60	637
訪問者対応	18	21	18	34	13	11	28	32	39	36	28	26	304
利用総数	67	91	112	84	53	58	77	77	81	80	75	86	941



【患者相談支援室利用状況 年度推移】

(単位：件)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
がん看護専門看護師	32	30	28	26
がん化学療法看護認定看護師	4	4	3	0
薬剤師	0	2	0	0
栄養士	2	2	2	2
公認心理師	6	13	5	5
リンパ浮腫療養士				
がん看護専門看護師 (患者相談支援室での対応)	8	0	0	0
がん患者サポート関連	75	136	197	217
がん相談合計 (a)	127	187	235	250
総合相談 (b)	462	366	320	387
相談合計 (a + b)	589	553	555	637



※2014 (H26) 年8月より、がん相談のRH室でのリンパ浮腫対応を除外

※2014 (H26) 年10月より、がん患者総合サポート件数を含む

【2018 年度 相談・苦情件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
合 計（件）	18	23	18	20	23	16	24	35	13	21	22	8	241	20
苦 情（件）	11	9	9	11	11	7	10	12	3	6	10	3	102	9
相 談（件）	3	11	2	5	11	7	7	14	9	11	10	4	94	8
支 援（件）	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
要望・依頼(件)	4	2	5	2	1	1	5	9	1	4	2	1	37	3
提言・提案(件)	0	0	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	5	0
総時間（分）	390	485	590	1,045	460	370	336	765	240	730	475	160	6,046	504
一件平均時間(分)	21	22	33	52	20	23	14	22	18	33	22	20	300	25
男 性（人）	12	8	8	9	12	12	11	16	8	12	16	6	130	11
女 性（人）	6	15	10	11	11	4	13	19	4	8	6	1	108	9
窓 口（件）	12	18	14	12	11	12	12	19	10	13	13	14	160	13
電 話（件）	6	5	3	8	9	3	12	16	3	7	9	4	85	7
文 書（件）	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	5	0
報告・有(件)	6	8	4	5	1	2	1	0	0	1	0	0	28	2
報告・無(件)	12	15	14	15	21	14	23	34	13	20	22	8	211	18

【2018 年度 相談苦情の対象者の分類】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
医 師	11	7	10	6	4	5	6	7	2	4	5	1	68	6
看 護 師	1	2	0	0	2	2	2	6	0	2	1	2	20	2
コメディカル	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
事 務	3	2	3	4	2	1	0	2	1	2	2	0	22	2
清掃業者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警備(防災)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	1	2	3	0	4	1	0	0	2	0	13	1
職 員	0	3	0	1	1	1	1	8	0	1	3	0	19	2
患者・家族	3	9	2	4	10	5	8	9	7	10	6	3	76	6
そ の 他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	3	0

○苦情

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
接 遇	0	1	1	0	2	0	2	3	0	4	3	2	18	2
診療内容	7	6	4	5	3	0	0	5	0	0	3	1	34	3
薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検 査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設 備	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
医 療 費	0	1	3	1	2	0	1	0	0	0	0	0	8	1
待ち時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文 書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	3	1	0	2	2	4	3	4	2	0	3	0	24	2

○相談

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
接 遇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0
診 療 内 容	2	0	1	1	1	1	0	2	0	1	0	1	10	1
薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検 査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設 備	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
医 療 費	0	2	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2	7	1
待ち時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文 書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	1	4	0	3	5	1	4	7	2	3	0	1	31	3

○支援

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
接 遇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診 療 内 容	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検 査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設 備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 療 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
待ち時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文 書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0

○要望・依頼

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
接 遇	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0
診 療 内 容	2	1	2	0	0	1	0	1	0	3	1	1	12	1
薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検 査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設 備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 療 費	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	4	0
待ち時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文 書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	6	1

○提言・提案

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
接 遇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診 療 内 容	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検 査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設 備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 療 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
待ち時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文 書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0

訪問看護ステーション

【利用者数の推移】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2015年度	77	84	80	82	80	77	83	81	80	81	85	84	974
2016年度	84	77	77	78	77	71	71	73	75	82	88	89	942
2017年度	88	86	85	88	85	78	77	80	78	75	80	82	982
2018年度	74	73	77	76	75	73	70	68	70	71	71	69	867

【訪問回数の推移】

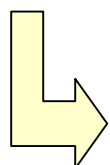
(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2015年度	676	617	691	734	626	599	583	651	667	638	751	771	8,004
2016年度	740	729	778	706	684	634	552	646	681	701	694	816	8,361
2017年度	699	719	831	802	761	662	656	701	681	697	760	802	8,771
2018年度	687	686	713	692	743	607	669	632	652	610	619	575	7,885

【休日定期訪問期間*の対象と訪問期間の推移】

	1～2週間	2～3週間	3～4週間	4～8週間	3ヶ月以上	全対象延べ人数
2015年度	13	2	4	2	1	22
2016年度	12	3	0	2	3	20
2017年度	29	2	0	2	2	35
2018年度	18	3	2	3	2	28

※休日定期訪問期間：土・日の訪問（年末年始・祭日は除外）



2018年度の主な訪問目的

- ・ ターミナル ケア
- ・ 褥瘡その他創傷処置
- ・ 点滴およびインスリン
- ・ 一時的な症状悪化
- ・ 吸引・排痰支援
- ・ 導尿、その他退院後の特別指示書による医療的管理、家族指導
- ・ 排便コントロール

【2018 年度 疾病中分類別・上位疾病別・病名数】

対象期間の全病名数：9,778 件

順位	コード	分 類 名	件数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	平均年齢
1	023	消化器の悪性新生物＜腫瘍＞	694	7.1	11,501	16.6	72.8
2	038	良性新生物＜腫瘍＞	544	5.6	2,236	4.1	63.0
3	111	口腔、唾液腺及び顎の疾患	379	3.9	1,128	3.0	35.7
4	094	虚血性心疾患	350	3.6	2,487	7.1	69.4
5	116	腸のその他の疾患	334	3.4	3,206	9.6	68.3
6	096	その他の型の心疾患	327	3.3	5,534	16.9	76.2
7	102	インフルエンザ及び肺炎	325	3.3	4,180	12.9	50.3
8	024	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物＜腫瘍＞	307	3.1	5,049	16.4	71.9
9	119	胆のう＜嚢＞、胆管及び膵の障害	260	2.7	3,247	12.5	70.0
10	097	脳血管疾患	244	2.5	6,344	26.0	73.5
11	079	水晶体の障害	227	2.3	456	2.0	75.9
12	135	脊椎障害	217	2.2	4,466	20.6	68.2
13	106	外的因子による肺疾患	196	2.0	6,290	32.1	83.8
14	222	生殖に関連する環境下での保健サービスの利用者	175	1.8	1,179	6.7	0.6
15	146	腎不全	155	1.6	1,889	12.2	74.9
16	031	腎尿路の悪性新生物＜腫瘍＞	148	1.5	1,832	12.4	73.8
17	204	股関節部及び大腿の損傷	146	1.5	4,805	32.9	80.7
18	030	男性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞	144	1.5	1,505	10.5	73.0
19	035	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞、原発と記載された又は推定されたもの	138	1.4	3,536	25.6	73.3
20	029	女性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞	133	1.4	1,243	9.3	59.6
21	158	胎児及び羊膜腔に関連する母胎ケア並びに予想される分娩の諸問題	125	1.3	1,349	10.8	31.1
22	028	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	121	1.2	1,203	9.9	60.7
23	070	挿間性及び発作性障害	118	1.2	495	4.2	57.0
24	145	腎尿細管間質性疾患	116	1.2	1,485	12.8	73.1
25	216	外因のその他及び詳細不明の作用	107	1.1	269	2.5	11.8
26	153	女性生殖器の非炎症性障害	106	1.1	563	5.3	47.2

27	034	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞	102	1.0	1,501	14.7	70.1
28	223	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	98	1.0	592	6.0	51.1
29	113	虫垂の疾患	97	1.0	833	8.6	40.8
30	098	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	90	0.9	1,157	12.9	74.0
30	103	その他の急性下気道感染症	90	0.9	452	5.0	2.7
32	149	尿路系のその他の疾患	89	0.9	1,731	19.4	81.9
33	001	腸管感染症	86	0.9	536	6.2	29.2
34	004	その他の細菌性疾患	85	0.9	1,797	21.1	68.0
34	150	男性生殖器の疾患	85	0.9	437	5.1	70.9
34	160	分娩	85	0.9	555	6.5	30.8
37	099	静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	83	0.8	496	6.0	65.3
38	053	代謝障害	82	0.8	1,118	13.6	61.4
39	067	錐体外路障害及び異常運動	80	0.8	1,421	17.8	77.9
40	147	尿路結石症	77	0.8	603	7.8	62.0
41	114	ヘルニア	75	0.8	501	6.7	64.5
42	105	慢性下気道疾患	73	0.7	841	11.5	47.8
43	047	糖尿病	69	0.7	1,024	14.8	65.4
43	112	食道、胃及び十二指腸の疾患	69	0.7	1,024	14.8	68.8
43	118	肝疾患	69	0.7	1,645	23.8	67.0
46	037	上皮内新生物＜腫瘍＞	68	0.7	363	5.3	67.7
47	202	肘及び前腕の損傷	67	0.7	860	12.8	58.0
48	205	膝及び下腿の損傷	65	0.7	2,074	31.9	58.3
49	039	性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	61	0.6	607	10.0	68.7
50	121	皮膚及び皮下組織の感染症	60	0.6	822	13.7	63.2
50	197	頭部損傷	60	0.6	873	14.6	69.1

【2018 年度 疾病中分類別・診療科別・病名数】

(単位：件)

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
総 数	9,778	100.0	1,093	1,582	486	586	879	627	688	238	185	591
構 成 比 (%) ※	100.0		11.2	16.2	5.0	6.0	9.0	6.4	7.0	2.4	1.9	6.0
I 感染症及び寄生虫症	264	2.7	60	51	27	58	4	－	1	－	1	12
001 腸管感染症	86	0.9	6	34	1	41	2	－	－	－	－	1
002 結核	11	0.1	1	1	6	－	－	－	－	－	－	－
004 その他の細菌性疾患	85	0.9	45	5	14	4	2	－	－	－	－	11
005 主として性的伝播様式をとる感染症	1	0.0	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－
009 中枢神経系のウイルス感染症	3	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
011 皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	47	0.5	－	－	1	8	－	－	－	－	1	－
012 ウイルス肝炎	9	0.1	1	7	－	1	－	－	－	－	－	－
014 その他のウイルス疾患	15	0.2	6	4	1	4	－	－	－	－	－	－
015 真菌症	3	0.0	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－
016 原虫疾患	3	0.0	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－
019 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	1	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
II 新生物<腫瘍>	2,508	25.6	147	825	217	3	402	7	234	－	24	312
022 口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	12	0.1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
023 消化器の悪性新生物<腫瘍>	694	7.1	－	360	－	－	229	－	1	－	－	2
024 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>	307	3.1	1	－	197	－	2	－	－	－	3	－
026 皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物<腫瘍>	10	0.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
027 中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>	13	0.1	－	－	5	－	－	－	3	－	－	2
028 乳房の悪性新生物<腫瘍>	121	1.2	－	－	－	－	109	－	－	－	－	－
029 女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	133	1.4	－	－	－	－	2	－	127	－	－	－
030 男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	144	1.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	140
031 腎尿路の悪性新生物<腫瘍>	148	1.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	141
032 眼、脳及び中枢神経系のその他の中枢神経系の部位の悪性新生物<腫瘍>	6	0.1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
033 甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>	7	0.1	－	－	－	－	－	－	－	－	6	－
034 部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	102	1.0	－	12	14	－	46	2	1	－	1	3
035 リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	138	1.4	125	1	－	－	4	－	－	－	1	2
037 上皮内新生物<腫瘍>	68	0.7	－	42	－	－	－	－	8	－	1	12
038 良性新生物<腫瘍>	544	5.6	－	396	－	－	7	4	88	－	9	7
039 性状不詳または不明の新生物<腫瘍>	61	0.6	21	14	1	3	2	1	6	－	2	3

※四捨五入誤差を含める

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科	新生児
総 数	156	390	399	164	157	428	709	38	198	184
構 成 比 (%)	1.6	4.0	4.1	1.7	1.6	4.4	7.3	0.4	2.0	1.9
I 感染症及び寄生虫症	38	1	1	-	4	4	2	-	-	-
001 腸管感染症	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
002 結核	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-
004 その他の細菌性疾患	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-
005 主として性的伝播様式をとる感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
009 中枢神経系のウイルス感染症	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
011 皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	36	-	-	-	-	1	-	-	-	-
012 ウイルス肝炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
014 その他のウイルス疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
015 真菌症	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
016 原虫疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
019 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
II 新生物	21	7	14	-	95	1	1	-	198	-
022 口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞	-	2	-	-	-	-	-	-	9	-
023 消化器の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	-	1	-	101	-
024 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	58	-	-	-	46	-
026 皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物＜腫瘍＞	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
027 中皮及び軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-
028 乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	1	-	-	11	-
029 女性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-
030 男性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-
031 腎尿路の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-
032 眼、脳及び中枢神経系のその他の中枢神経系の部位の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-
033 甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
034 部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	3	-	16	-	-	-	4	-
035 リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-
037 上皮内新生物＜腫瘍＞	1	1	-	-	3	-	-	-	-	-
038 良性新生物＜腫瘍＞	9	2	7	-	15	-	-	-	-	-
039 性状不詳または不明の新生物＜腫瘍＞	-	2	3	-	3	-	-	-	-	-

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消化器内科	呼吸器内科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳鼻咽喉科	泌 尿 器 科
Ⅲ 血液及び造血器の疾患 並びに免疫機能の障害	58	0.6	18	16	1	10	6	-	-	-	1	1
040 栄養性貧血	11	0.1	1	8	-	-	1	-	-	-	-	-
041 溶血性貧血	2	0.0	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
042 無形成性貧血及びその他の貧血	12	0.1	8	3	-	-	1	-	-	-	-	-
043 凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	11	0.1	6	1	-	3	-	-	-	-	1	-
044 血液及び造血器のその他の疾患	11	0.1	1	4	-	1	4	-	-	-	-	1
045 免疫機構の障害	11	0.1	1	-	1	5	-	-	-	-	-	-
Ⅳ 内分泌、栄養及び代謝疾患	228	2.3	151	13	1	32	5	4	1	1	1	1
046 甲状腺障害	5	0.1	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-
047 糖尿病	69	0.7	63	-	-	-	-	3	-	-	-	-
048 その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	19	0.2	11	-	1	6	1	-	-	-	-	-
049 その他の内分泌腺障害	46	0.5	26	1	-	13	-	-	1	-	-	1
050 栄養失調（症）	5	0.1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
051 その他の栄養欠乏症	1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
052 肥満（症）及びその他の過栄養 ＜過剰摂食＞	1	0.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
053 代謝障害	82	0.8	46	10	-	12	4	1	-	-	-	-
Ⅴ 精神及び行動の障害	40	0.4	7	3	1	7	-	-	-	-	-	1
054 症状性を含む器質性精神障害	4	0.0	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
055 精神作用物質使用による精神 及び行動の障害	10	0.1	4	2	-	-	-	-	-	-	-	1
056 統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
057 気分[感情]障害	5	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
058 神経症性障害、ストレス関連 障害及び身体表現性障害	10	0.1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
059 生理的障害及び身体的要因に 関連した行動症候群	2	0.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
062 心理的発達の障害	8	0.1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
Ⅵ 神経系の疾患	330	3.4	9	1	53	10	-	4	-	-	37	-
065 中枢神経系の炎症性疾患	9	0.1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
066 主に中枢神経系を障害する 系統萎縮症	35	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
067 錐体外路障害及び異常運動	80	0.8	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
068 神経系のその他の変性疾患	17	0.2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
069 中枢神経系の脱髄疾患	4	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
070 挿間性及び発作性障害	118	1.2	1	1	52	4	-	-	-	-	28	-
071 神経、神経根及び神経そう＜叢＞ の障害	16	0.2	-	-	-	1	-	3	-	-	9	-
072 多発（性）ニューロパチ＜シ＞ ー及びその他の末梢神経系の 障害	10	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
073 神経筋接合部及び筋の疾患	13	0.1	3	-	1	1	-	1	-	-	-	-
074 脳性麻痺及びその他の麻痺性 症候群	1	0.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
075 神経系のその他の障害	27	0.3	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科	新生児
Ⅲ 血液及び造血器の疾患 並びに免疫機能の障害	-	-	-	1	2	-	2	-	-	-
040 栄養性貧血	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
041 溶血性貧血	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
042 無形成性貧血及びその他の貧血	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
043 凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
044 血液及び造血器のその他の疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
045 免疫機構の障害	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-
Ⅳ 内分泌、栄養及び代謝疾患	1	-	1	-	3	6	6	1	-	-
046 甲状腺障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
047 糖尿病	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-
048 その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
049 その他の内分泌腺障害	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-
050 栄養失調（症）	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
051 その他の栄養欠乏症	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
052 肥満（症）及びその他の過栄養 ＜過剰摂食＞	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
053 代謝障害	-	-	-	-	-	5	3	1	-	-
Ⅴ 精神及び行動の障害	-	-	-	1	-	6	2	12	-	-
054 症状性を含む器質性精神障害	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
055 精神作用物質使用による精神 及び行動の障害	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
056 統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
057 気分〔感情〕障害	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-
058 神経症性障害、ストレス関連 障害及び身体表現性障害	-	-	-	1	-	4	-	4	-	-
059 生理的障害及び身体的要因に 関連した行動症候群	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
062 心理的発達の障害	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
Ⅵ 神経系の疾患	-	-	10	-	-	202	3	1	-	-
065 中枢神経系の炎症性疾患	-	-	1	-	-	7	-	-	-	-
066 主に中枢神経系を障害する系 統萎縮症	-	-	-	-	-	35	-	-	-	-
067 錐体外路障害及び異常運動	-	-	-	-	-	77	-	-	-	-
068 神経系のその他の変性疾患	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-
069 中枢神経系の脱髄疾患	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
070 挿間性及び発作性障害	-	-	3	-	-	28	-	1	-	-
071 神経、神経根及び神経そう＜叢＞ の障害	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
072 多発（性）ニューロパチ＜シ＞ 一及びその他の末梢神経系の 障害	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
073 神経筋接合部及び筋の疾患	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
074 脳性麻痺及びその他の麻痺性 症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
075 神経系のその他の障害	-	-	4	-	-	18	2	-	-	-

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
VII 眼及び付属器の疾患	237	2.4	1	-	-	-	-	-	-	236	-	-
076 眼瞼、涙器及び眼窩の障害	7	0.1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
077 結膜の障害	1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
079 水晶体の障害	227	2.3	-	-	-	-	-	-	-	227	-	-
082 硝子体及び眼球の障害	1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
084 眼筋、眼球運動、調節及び屈折の障害	1	0.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳及び乳様突起の疾患	57	0.6	1	-	-	4	-	-	-	-	52	-
088 中耳及び乳様突起の疾患	8	0.1	-	-	-	4	-	-	-	-	4	-
089 内耳疾患	36	0.4	1	-	-	-	-	-	-	-	35	-
090 耳のその他の障害	13	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-
IX 循環器系の疾患	1,109	11.3	46	19	4	-	3	8	1	-	-	2
092 慢性リウマチ性心疾患	2	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
093 高血圧性疾患	6	0.1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
094 虚血性心疾患	350	3.6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
095 肺性心疾患及び肺循環疾患	5	0.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
096 その他の型の心疾患	327	3.3	32	3	2	-	3	-	-	-	-	-
097 脳血管疾患	244	2.5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
098 動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	90	0.9	6	3	-	-	-	8	-	-	-	2
099 静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	83	0.8	-	11	1	-	-	-	1	-	-	-
100 循環器系のその他及び詳細不明の障害	2	0.0	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	881	9.0	250	37	164	273	12	1	-	-	50	5
101 急性上気道感染症	52	0.5	2	1	1	35	-	-	-	-	11	1
102 インフルエンザ及び肺炎	325	3.3	118	17	44	122	6	-	-	-	-	2
103 その他の急性下気道感染症	90	0.9	-	-	1	88	-	-	-	-	-	-
104 上気道のその他の疾患	41	0.4	-	-	1	-	-	-	-	-	39	-
105 慢性下気道疾患	73	0.7	3	-	41	27	-	-	-	-	-	-
106 外的因子による肺疾患	196	2.0	110	16	34	1	5	1	-	-	-	1
107 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	44	0.4	7	1	30	-	1	-	-	-	-	-
108 下気道の化膿性及びえく壊死性病態	17	0.2	4	-	8	-	-	-	-	-	-	1
109 胸膜のその他の疾患	33	0.3	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-
110 呼吸器系のその他の疾患	10	0.1	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	1,373	14.0	17	565	2	3	395	1	2	-	4	6
111 口腔、唾液腺及び顎の疾患	379	3.9	-	1	-	-	1	-	-	-	4	-
112 食道、胃及び十二指腸の疾患	69	0.7	2	54	2	-	10	-	-	-	-	-
113 虫垂の疾患	97	1.0	-	-	-	1	96	-	-	-	-	-
114 ヘルニア	75	0.8	-	1	-	-	70	-	-	-	-	4
115 非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	32	0.3	-	26	-	2	3	-	1	-	-	-

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科	新生児
VII 眼及び付属器の疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
076 眼瞼、涙器及び眼窩の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
077 結膜の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
079 水晶体の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
082 硝子体及び眼球の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
084 眼筋、眼球運動、調節及び屈折の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳及び乳様突起の疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
088 中耳及び乳様突起の疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
089 内耳疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
090 耳のその他の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	6	-	96	141	1	154	628	-	-	-
092 慢性リウマチ性心疾患	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
093 高血圧性疾患	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
094 虚血性心疾患	-	-	-	20	-	-	327	-	-	-
095 肺性心疾患及び肺循環疾患	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
096 その他の型の心疾患	-	-	-	33	-	3	251	-	-	-
097 脳血管疾患	-	-	90	-	-	151	-	-	-	-
098 動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	5	-	6	20	-	-	40	-	-	-
099 静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないものの	1	-	-	66	1	-	2	-	-	-
100 循環器系のその他及び詳細不明の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	-	-	-	-	36	21	32	-	-	-
101 急性上気道感染症	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
102 インフルエンザ及び肺炎	-	-	-	-	1	3	12	-	-	-
103 その他の急性下気道感染症	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
104 上気道のその他の疾患	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
105 慢性下気道疾患	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
106 外的因子による肺疾患	-	-	-	-	1	14	13	-	-	-
107 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-
108 下気道の化膿性及びえく壊>死性病態	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-
109 胸膜のその他の疾患	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-
110 呼吸器系のその他の疾患	-	-	-	-	1	2	2	-	-	-
XI 消化器系の疾患	-	373	-	-	1	2	2	-	-	-
111 口腔、唾液腺及び顎の疾患	-	373	-	-	-	-	-	-	-	-
112 食道、胃及び十二指腸の疾患	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
113 虫垂の疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
114 ヘルニア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
115 非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消化器 内科	呼吸器 内科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
116 腸のその他の疾患	334	3.4	4	239	-	-	90	-	1	-	-	-
117 腹膜の疾患	16	0.2	1	5	-	-	8	1	-	-	-	-
118 肝疾患	69	0.7	2	64	-	-	-	-	-	-	-	2
119 胆のう<嚢>、胆管及び膵の障害	260	2.7	8	152	-	-	99	-	-	-	-	-
120 消化器系のその他の疾患	42	0.4	-	23	-	-	18	-	-	-	-	-
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	104	1.1	9	3	-	8	2	2	-	1	1	1
121 皮膚及び皮下組織の感染症	60	0.6	4	3	-	5	2	1	-	-	1	1
122 水疱症	4	0.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
123 皮膚炎及び湿疹	8	0.1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
124 丘疹落せつ<屑>りんせつ<鱗屑>性障害	1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
125 じんま<蕁麻疹>疹及び紅斑	6	0.1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-
126 皮膚及び皮下組織の放射線(非電離及び電離)に関連する障害	1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
127 皮膚付属器の障害	5	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
128 皮膚及び皮下組織のその他の障害	19	0.2	3	-	-	-	-	1	-	1	-	-
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	390	4.0	35	5	4	13	1	122	1	-	1	1
129 感染性関節障害	6	0.1	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-
130 炎症性多発性関節障害	14	0.1	6	2	-	-	-	5	-	-	-	-
131 関節症	32	0.3	-	-	-	-	-	32	-	-	-	-
132 その他の関節障害	5	0.1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
133 全身性結合組織障害	24	0.2	8	-	4	12	-	-	-	-	-	-
134 変形性脊柱障害	8	0.1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
135 脊椎障害	217	2.2	6	2	-	-	1	47	1	-	-	-
136 その他の脊柱障害	40	0.4	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
137 筋障害	17	0.2	13	1	-	-	-	-	-	-	1	-
138 滑膜及び腱の障害	3	0.0	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
139 その他の軟部組織障害	7	0.1	1	-	-	-	-	3	-	-	-	1
140 骨の密度及び構造の障害	5	0.1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
141 その他の骨障害	8	0.1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
142 軟骨障害	1	0.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
143 筋骨格系及び結合組織のその他の障害	3	0.0	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	694	7.1	279	12	4	5	13	-	111	-	7	242
144 糸球体疾患	54	0.6	46	-	-	1	-	-	-	-	7	-
145 腎尿細管間質性疾患	116	1.2	36	3	3	3	2	-	1	-	-	61
146 腎不全	155	1.6	140	-	-	-	4	-	-	-	-	5
147 尿路結石症	77	0.8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	76
148 腎及び尿管のその他の障害	3	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
149 尿路系のその他の疾患	89	0.9	53	8	1	1	5	-	3	-	-	13
150 男性生殖器の疾患	85	0.9	3	-	-	-	1	-	-	-	-	80
152 女性骨盤臓器の炎症性疾患	8	0.1	-	1	-	-	-	-	7	-	-	-
153 女性生殖器の非炎症性障害	106	1.1	-	-	-	-	1	-	100	-	-	5
154 腎尿路生殖器系のその他の障害	1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科	新生児
116 腸のその他の疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
117 腹膜の疾患	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
118 肝疾患	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
119 胆のう<嚢>、胆管及び膵の障害	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
120 消化器系のその他の疾患	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	73	2	-	-	-	1	1	-	-	-
121 皮膚及び皮下組織の感染症	40	2	-	-	-	1	-	-	-	-
122 水疱症	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
123 皮膚炎及び湿疹	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
124 丘疹落せつ<屑>りんせつ<鱗屑>性障害	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
125 じんま<蕁麻疹>及び紅斑	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
126 皮膚及び皮下組織の放射線(非電離及び電離)に関連する障害	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
127 皮膚付属器の障害	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
128 皮膚及び皮下組織のその他の障害	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	3	2	193	2	-	5	2	-	-	-
129 感染性関節障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
130 炎症性多発性関節障害	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
131 関節症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
132 その他の関節障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
133 全身性結合組織障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
134 変形性脊柱障害	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
135 脊椎障害	-	-	156	-	-	4	-	-	-	-
136 その他の脊柱障害	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-
137 筋障害	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
138 滑膜及び腱の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
139 その他の軟部組織障害	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
140 骨の密度及び構造の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
141 その他の骨障害	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-
142 軟骨障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
143 筋骨格系及び結合組織のその他の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	-	-	-	2	1	8	10	-	-	-
144 糸球体疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
145 腎尿細管間質性疾患	-	-	-	-	1	1	5	-	-	-
146 腎不全	-	-	-	2	-	1	3	-	-	-
147 尿路結石症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
148 腎及び尿管のその他の障害	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
149 尿路系のその他の疾患	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-
150 男性生殖器の疾患	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
152 女性骨盤臓器の炎症性疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
153 女性生殖器の非炎症性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
154 腎尿路生殖器系のその他の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
XV 妊娠、分娩及び産じょく<褥>	281	2.9	-	-	-	-	1	-	280	-	-	-
155 流産に終わった妊婦	20	0.2	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-
156 妊娠、分娩及び産じょく<褥> における浮腫、たんぱく<蛋白> >尿及び高血圧性障害	12	0.1	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-
157 主として妊娠に関するその他の 母体障害	17	0.2	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-
158 胎児及び羊膜腔に関連する母 体ケア並びに予想される分娩 の諸問題	125	1.3	-	-	-	-	-	-	125	-	-	-
159 分娩の合併症	20	0.2	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-
160 分娩	85	0.9	-	-	-	-	-	-	85	-	-	-
161 主として産じょく<褥>に関 連する合併症	2	0.0	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	95	1.0	-	-	-	33	-	-	50	-	-	-
163 母体側要因並びに妊娠及び分 娩の合併症により影響を受け た胎児及び新生児	1	0.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
164 妊娠期間及び胎児発育の関連 する障害	39	0.4	-	-	-	16	-	-	22	-	-	-
166 周産期に特異的な呼吸障害及 び心血管障害	32	0.3	-	-	-	12	-	-	13	-	-	-
168 胎児及び新生児の出血性障害 及び血液障害	13	0.1	-	-	-	1	-	-	9	-	-	-
169 胎児及び新生児に特異的な一 過性の内分泌障害及び代謝障 害	4	0.0	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
171 胎児及び新生児の外皮及び体 温調節に関連する病態	2	0.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
172 周産期に発生したその他の障 害	4	0.0	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	30	0.3	7	1	-	7	4	-	-	-	3	3
174 眼、耳、顔面及び頸部の先天奇 形	1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
175 循環器系の先天奇形	8	0.1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
178 消化器系のその他の先天奇形	4	0.0	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-
179 生殖器の先天奇形	2	0.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
180 腎尿路系の先天奇形	11	0.1	7	-	-	-	2	-	-	-	-	2
181 筋骨格系の先天奇形及び変形	2	0.0	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
182 その他の先天奇形	2	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科	新生児
XV 妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
155 流産に終わった妊婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
156 妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞における浮腫、たんぱく＜蛋白＞尿及び高血圧性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
157 主として妊娠に関するその他の母体障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
158 胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
159 分娩の合併症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
160 分娩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
161 主として産じょく＜褥＞に関連する合併症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
163 母体側要因並びに妊娠及び分娩の合併症により影響を受けた胎児及び新生児	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
164 妊娠期間及び胎児発育の関連する障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
166 周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
168 胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
169 胎児及び新生児に特異的な一過性の内分泌障害及び代謝障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
171 胎児及び新生児の外皮及び体温調節に関連する病態	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
172 周産期に発生したその他の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	1	1	-	-	2	-	1	-	-	-
174 眼、耳、顔面及び頸部の先天奇形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
175 循環器系の先天奇形	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
178 消化器系のその他の先天奇形	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
179 生殖器の先天奇形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
180 腎尿路系の先天奇形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
181 筋骨格系の先天奇形及び変形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
183 その他の先天奇形	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消化器内 科	呼吸器内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
Ⅷ 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	96	1.0	20	14	6	25	－	1	－	－	－	2
184 循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	10	0.1	2	1	5	－	－	1	－	－	－	－
185 消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	11	0.1	3	6	－	2	－	－	－	－	－	－
186 皮膚及び皮下組織に関する症状及び徴候	1	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
187 神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候	6	0.1	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－
188 腎尿路系に関する症状及び徴候	3	0.0	－	1	－	－	－	－	－	－	－	2
189 認識、知覚、情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	9	0.1	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－
191 全身症状及び徴候	55	0.6	12	6	1	19	－	－	－	－	－	－
195 画像診断及び機能検査における異常所見、診断名の記載がないもの	1	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Ⅸ 損傷、中毒及びその他の外因の影響	715	7.3	36	9	2	95	14	393	4	－	3	2
197 頭部損傷	60	0.6	5	－	1	－	－	1	－	－	1	－
198 頸部損傷	15	0.2	－	－	－	－	1	2	－	－	1	－
199 胸部<郭>損傷	24	0.2	－	－	－	－	－	7	－	－	－	－
200 腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	59	0.6	5	1	1	－	3	33	－	－	－	1
201 肩及び上腕の損傷	38	0.4	1	－	－	－	－	36	－	－	－	－
202 肘及び前腕の損傷	67	0.7	－	－	－	－	1	66	－	－	－	－
203 手首及び手の損傷	12	0.1	－	－	－	－	－	12	－	－	－	－
204 股関節部及び大腿の損傷	146	1.5	1	－	－	－	－	145	－	－	－	－
205 膝及び下腿の損傷	65	0.7	－	－	－	－	－	62	－	－	－	－
206 足首及び足の損傷	9	0.1	－	－	－	－	－	9	－	－	－	－
207 多部位の損傷	11	0.1	1	－	－	－	－	9	－	－	－	－
208 部位不明の体幹もしくは（四）肢の損傷又は部位不明の損傷	2	0.0	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
209 自然開口部からの異物侵入の作用	7	0.1	2	－	－	1	3	－	－	－	－	－
210 体表面の熱傷及び腐食、明示された部位	6	0.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
214 薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	27	0.3	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－
215 薬用を主としない物質の毒作用	1	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
216 外陰のその他及び詳細不明の作用	107	1.1	8	1	－	93	－	－	－	－	－	－
217 外傷の早期合併症	1	0.0	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
218 外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	57	0.6	10	7	－	1	5	9	4	－	1	1
219 損傷、中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症	1	0.0	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科	新生児
Ⅷ 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	-	-	1	1	6	11	9	-	-	-
184 循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
185 消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
186 皮膚及び皮下組織に関する症状及び徴候	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
187 神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-
188 腎尿路系に関する症状及び徴候	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
189 認識、知覚、情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-
191 全身症状及び徴候	-	-	-	1	5	6	5	-	-	-
195 画像診断及び機能検査における異常所見、診断名の記載がないもの	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ⅸ 損傷、中毒及びその他の外因の影響	12	2	83	16	6	7	7	24	-	-
197 頭部損傷	1	2	47	-	-	1	1	-	-	-
198 頸部損傷	-	-	10	-	-	1	-	-	-	-
199 胸部＜郭＞損傷	-	-	11	-	5	-	1	-	-	-
200 腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	-	-	13	-	-	1	1	-	-	-
201 肩及び上腕の損傷	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
202 肘及び前腕の損傷	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
203 手首及び手の損傷	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
204 股関節部及び大腿の損傷	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
205 膝及び下腿の損傷	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-
206 足首及び足の損傷	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
207 多部位の損傷	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
208 部位不明の体幹もしくは（四）肢の損傷又は部位不明の損傷	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
209 自然開口部からの異物侵入の作用	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
210 体表面の熱傷及び腐食、明示された部位	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
214 薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-
215 薬用を主としない物質の毒作用	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
216 外陰のその他及び詳細不明の作用	2	-	-	-	-	2	-	1	-	-
217 外傷の早期合併症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
218 外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	-	-	-	16	-	1	2	-	-	-
219 損傷、中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
XX 傷病及び死亡の外因	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	284	2.9	－	8	－	－	13	84	3	－	－	－
220 検査及び診査のための保健サービスの利用者	10	0.1	－	8	－	－	1	－	－	－	－	－
222 生殖に関連する環境下での保健サービスの利用者	175	1.8	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－
223 特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	98	1.0	－	－	－	－	12	84	－	－	－	－
226 家族歴、既往歴及び健康状態に影響を及ぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	1	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
XXII 特殊目的用コード	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	4	0.0	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科	新生児
XX 傷病及び死亡の外因	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1	2	-	-	-	-	1	-	-	172
220 検査及び診査のための保健サービスの利用者	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
222 生殖に関連する環境下での保健サービスの利用者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	172
223 特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
226 家族歴、既往歴及び健康状態に影響を及ぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
XXII 特殊目的用コード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【2018 年（1～12 月度） 地区別・診療科別退院患者数】

退院患者数には転科を含む（単位：件）

	滋賀県											
	大津市			湖南			湖東			その他		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
内 科	1,053	539	514	44	24	20	4	4	0	6	4	2
消化器内科	1,492	918	574	73	43	30	11	0	11	8	6	2
外 科	777	396	381	35	18	17	12	9	3	4	3	1
呼吸器内科	480	309	171	30	14	16	3	3	0	6	6	0
小 児 科	555	324	231	21	14	7	4	3	1	0	0	0
整形外科	589	222	367	28	14	14	3	3	0	1	1	0
産婦人科	585	23	562	24	0	24	8	1	7	16	0	16
眼 科	207	77	130	6	3	3	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	135	62	73	3	0	3	0	0	0	2	0	2
泌尿器科	566	454	112	25	23	2	8	8	0	8	5	3
皮 膚 科	153	71	82	7	4	3	0	0	0	4	3	1
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	321	125	196	20	9	11	6	4	2	13	5	8
脳神経内科	389	220	169	26	11	15	1	1	0	5	3	2
脳神経外科	346	200	146	25	17	8	6	5	1	5	4	1
循環器内科	638	404	234	31	25	6	3	1	2	0	0	0
呼吸器外科	130	85	45	9	4	5	7	3	4	3	2	1
心臓血管外科	165	81	84	18	10	8	3	1	2	3	2	1
小児循環器内科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神・心療内科	28	8	20	1	0	1	0	0	0	1	0	1
緩和ケア科	171	96	75	10	5	5	0	0	0	1	1	0
比率 (%)	89.8%			4.5%			0.8%			0.9%		
合 計	8,781	4,615	4,166	436	238	198	79	46	33	86	45	41

	京都府						他府県			合 計			比率 (%)
	山科地区			その他									
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
内 科	6	5	1	13	8	5	9	7	2	1,135	591	544	11.6
消化器内科	7	7	0	16	6	10	19	14	5	1,626	994	632	16.6
外 科	10	6	4	13	6	7	13	5	8	864	443	421	8.8
呼吸器内科	1	1	0	2	1	1	1	0	1	523	334	189	5.4
小 児 科	2	1	1	8	4	4	16	10	6	606	356	250	6.2
整 形 外 科	4	3	1	10	8	2	9	7	2	644	258	386	6.6
産 婦 人 科	4	0	4	16	1	15	71	7	64	724	32	692	7.4
眼 科	0	0	0	3	3	0	0	0	0	216	83	133	2.2
耳 鼻 咽 喉 科	1	1	0	1	1	0	1	1	0	143	65	78	1.5
泌 尿 器 科	12	12	0	2	2	0	4	4	0	625	508	117	6.4
皮 膚 科	2	2	0	4	1	3	3	2	1	173	83	90	1.8
形 成 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	2	0	2	5	1	4	4	1	3	371	145	226	3.8
脳神経内科	0	0	0	2	1	1	2	2	0	425	238	187	4.3
脳神経外科	1	1	0	16	9	7	6	4	2	405	240	165	4.1
循環器内科	13	11	2	4	4	0	14	12	2	703	457	246	7.2
呼吸器外科	1	1	0	7	5	2	4	2	2	161	102	59	1.6
心臓血管外科	1	1	0	4	2	2	0	0	0	194	97	97	2.0
小児循環器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0.0
精神・心療内科	1	0	1	0	0	0	1	0	1	32	8	24	0.3
緩和ケア科	11	9	2	6	3	3	3	1	2	202	115	87	2.1
比率 (%)	0.8%			1.4%			1.8%						
合 計	79	61	18	132	66	66	180	79	101	9,773	5,150	4,623	

【部位（大分類）別・診断年別・腫瘍数（2017年診断）】

		総数	構成比 (%)			総数	構成比 (%)
総数	計	916	100.0	09 (C49) 結合組織、皮下組織及び その他の軟部組織	計	2	0.2
	男	542	59.2		男	2	0.4
	女	374	40.8		女	—	—
構成比 (%)	計		100.0	10 (C50) 乳房	計	55	6.0
	男		100.0		男	—	—
	女		100.0		女	55	14.7
01 (C00-C14) 口唇、口腔及び咽頭	計	14	1.5	11 (C51-C58) 女性性器	計	42	4.6
	男	10	1.8		男	—	—
	女	4	1.1		女	42	11.2
02 (C15-C26) 消化器	計	449	49.0	12 (C60-C63) 男性性器	計	92	10.0
	男	262	48.3		男	92	17.0
	女	187	50.0		女	—	—
03 (C30-C39) 呼吸器系及び胸腔内臓 器	計	133	14.5	13 (C64-C68) 尿路	計	58	6.3
	男	92	17.0		男	47	8.7
	女	41	11.0		女	11	2.9
04 (C40-C41) 骨、関節及び関節軟骨	計	1	0.1	14 (C69-C72) 眼、脳及びその他の 中枢神経系	計	5	0.5
	男	—	—		男	5	0.9
	女	1	0.3		女	—	—
05 (C42) 造血系及び細網内皮系	計	25	2.7	15 (C73-C75) 甲状腺及びその他の 内分泌腺	計	6	0.7
	男	15	2.8		男	2	0.4
	女	10	2.7		女	4	1.1
06 (C44) 皮膚	計	17	1.9	16 (C76) その他及び不明確な部位	計	—	—
	男	7	1.3		男	—	—
	女	10	2.7		女	—	—
07 (C47) 末梢神経及び自律神経 系	計	—	—	17 (C77) リンパ節	計	11	1.2
	男	—	—		男	6	1.1
	女	—	—		女	5	1.3
08 (C48) 後腹膜及び腹膜	計	1	0.1	18 (C80) 原発部位不明	計	5	0.5
	男	1	0.2		男	1	0.2
	女	—	—		女	4	1.1

【部位（中分類）別・診断年別・腫瘍数（2017年診断）】

		総数	構成比 (%)			総数	構成比 (%)
総数	計	916	100.0	C17 小腸	計	11	1.2
	男	542	59.2		男	7	1.3
	女	374	40.8		女	4	1.1
構成比 (%)	計		100.0	C18 結腸	計	125	13.6
	男		100.0		男	72	13.3
	女		10.0		女	53	14.2
C02 その他及び部位不明の舌	計	1	0.1	C19 直腸S状結腸移行部	計	8	0.9
	男	-	-		男	3	0.6
	女	1	0.3		女	5	1.3
C03 歯肉	計	3	0.3	C20 直腸	計	57	6.2
	男	2	0.4		男	37	6.8
	女	1	0.3		女	20	5.3
C06 その他及び部位不明の口腔	計	3	0.3	C21 肛門及び肛門管	計	1	0.1
	男	1	0.2		男	-	-
	女	2	0.5		女	1	0.3
C09 扁桃	計	1	0.1	C22 肝及び肝内胆管	計	33	3.6
	男	1	0.2		男	20	3.7
	女	-	-		女	13	3.5
C10 中咽頭	計	2	0.2	C23 胆のう	計	8	0.9
	男	2	0.4		男	1	0.2
	女	-	-		女	7	1.9
C11 鼻咽頭	計	1	0.1	C24 その他及び部位不明の胆道	計	6	0.7
	男	1	0.2		男	3	0.6
	女	-	-		女	3	0.8
C12 梨状陥凹	計	1	0.1	C25 腭	計	54	5.9
	男	1	0.2		男	25	4.6
	女	-	-		女	29	7.8
C13 下咽頭	計	2	0.2	C30 鼻腔及び中耳	計	1	0.1
	男	2	0.4		男	1	0.2
	女	-	-		女	-	-
C15 食道	計	16	1.7	C32 喉頭	計	4	0.4
	男	14	2.6		男	4	0.7
	女	2	0.5		女	-	-
C16 胃	計	130	14.2	C34 気管支及び肺	計	124	13.5
	男	80	14.8		男	84	15.5
	女	50	13.4		女	40	10.7

			総数	構成比 (%)			総数	構成比 (%)	
C38	心臓、縦隔及び胸膜	計	4	0.4	C65	腎盂	計	6	0.7
		男	3	0.6			男	5	0.9
		女	1	0.3			女	1	0.3
C41	その他及び部位不明の骨、関節及び関節軟骨	計	1	0.1	C66	尿管	計	5	0.5
		男	－	－			男	3	0.6
		女	1	0.3			女	2	0.5
C42	造血系及び細網内皮系	計	25	2.7	C67	膀胱	計	30	3.3
		男	15	2.8			男	27	5.0
		女	10	2.7			女	3	0.8
C44	皮膚	計	17	1.9	C69	眼及び付属器	計	2	0.2
		男	7	1.3			男	2	0.4
		女	10	2.7			女	－	－
C48	後腹膜及び腹膜	計	1	0.1	C70	髄膜	計	1	0.1
		男	1	0.2			男	1	0.2
		女	－	－			女	－	－
C49	結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織	計	2	0.2	C71	脳	計	1	0.1
		男	2	0.4			男	1	0.2
		女	－	－			女	－	－
C50	乳房	計	55	6.0	C72	脊髄、脳神経及びその他の中枢神経系	計	1	0.1
		男	－	－			男	1	0.2
		女	55	14.7			女	－	－
C53	子宮頸	計	17	1.9	C73	甲状腺	計	4	0.4
		男	－	－			男	－	－
		女	17	4.5			女	4	1.1
C54	子宮体部	計	12	1.3	C74	副腎	計	1	0.1
		男	－	－			男	1	0.2
		女	12	3.2			女	－	－
C56	卵巣	計	13	1.4	C75	その他の内分泌腺及び関連組織	計	1	0.1
		男	－	－			男	1	0.2
		女	13	3.5			女	－	－
C61	前立腺	計	90	9.8	C77	リンパ節	計	11	1.2
		男	90	16.6			男	6	1.1
		女	－	－			女	5	1.3
C62	精巣	計	2	0.2	C80	原発部位不明	計	5	0.5
		男	2	0.4			男	1	0.2
		女	－	－			女	4	1.1
C64	腎	計	17	1.9					
		男	12	2.2					
		女	5	1.3					

臨床研修センター

研修医・専攻医（後期研修医）を中心に、すべての医療関係者個々の臨床学習を支援しています。実り多い研修にするためには、医療ニーズに触れ、ニーズを満たすために必要な力を個々がMy goalを設定して取り組むことが肝要です。臨床研修センターは研修事業の充実への最大限の支援体制を目指しています。

【初期臨床研修支援事業】

医科初期臨床研修においては、マッチング採用の当院研修希望者に加え、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院及び滋賀医科大学医学部附属病院からのたすきがけ研修医を受け入れている。

2年次研修医は1名が育休を取得し次年度に研修修了であるが、残る全員は初期研修を修了し、各々が希望する後期研修へと進むこととなった。

※2018年度研修者

（医科）

・2年次

市立大津市民病院採用

8名

・1年次

市立大津市民病院採用

9名

（歯科）

・1年次

市立大津市民病院採用

1名

臨床研修センターロゴマーク



武士（もののふ）の
やばせの舟は早けれど
急がば回れ瀬田の長橋

【2018年度の主な事業】

<研修医リフレッシュ研修（2018年9月14日（金）～15日（土）宿泊研修）>

研修管理委員（院長、センター長、指導医等）と研修医による意見交換会の後、西教寺にて1泊2日の宿泊研修を実施した。意見交換会で出される研修医からの意見は次年度の研修プログラムに反映させている。

<研修医プレゼンテーション>

救急診療科主催により、研修医によるER・ICUで経験した症例提示を行い（年3回）、研修医のプレゼンテーション能力向上を図った。

<地域医療フォーラム2019に参加（2019年3月10日（日）～11日（月））>

本フォーラムは、滋賀県にゆかりのある医学生等を対象に開催されたもので、県内の13病院が参加した。

医学生向け講演会、各病院のプレゼンテーション、出展ブースでの医学生との自由面談、懇親会が行われた。

当院からは指導医として外科・消化器外科・乳腺外科診療部長（乳腺部門）橘医師のほか、沢村研修医、武井研修医、土橋研修医が参加し、ブースを訪れた学生に対して医療現場目線を踏まえた当院の紹介を行った。2日目の病院見学では新しくなったICU及び臨床研修センター施設内の紹介の後、当院研修医と研修体制について積極的な質疑応答を行った。

1日目のびわ湖大津プリンスホテル及びミシガン（船上）での説明会には108名が参加され、2日目の病院見学のうち当院へは12名の方が参加された。

【院内研修支援事業】

<蘇生研修事業>

日本蘇生協会(JRC) 蘇生ガイドライン 2015 に準拠されている BLS 研修を看護師・コメディカルを対象に実施した。実施にあたり、職員で一定の資格を有する者(日本救急医学会 ICLS インストラクター等)を対象にインストラクター研修を実施し、新規インストラクターには昨年同様、白衣に装着できるオリジナルピンバッジを授与した。
また、BLS 研修受講者には名札ケースに入れられるよう、名刺サイズの研修修了証(下図)を交付した。

■インストラクター研修

研修回数：3回 登録インストラクター数：15名

■BLS 研修

研修回数：5回、受講職員数：31名

このほか、日本救急医学会 ICLS 講習会事業について、事業を円滑に実施することができた。

ICLS 開催回数：2回、受講者：48名。



【インターネット情報交換活動】

「Facebook：大津市民病院臨床研修センター」を利用して、即時性の高い情報交換を実施している。